

神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会
第1回 常任・合同委員会 要項

日時 : 令和5年6月 22 日(木)15:00~
場所 : かながわ県民センター 301 会議室

座 席 表

【全体会→常任幹事・幹事会、各委員会】

※着席した状態で委員会を行いますので、次の図の位置を意識して、ご自分の名前の入った資料のある座席へご着席ください。

	机	事務局	司会
来賓・事務局		常任幹事・幹事	
研究委員会(技術)		フェア委員会	
研究委員会(家庭)		会報委員会	
調査 Web 委員会			

神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 事務局
<http://www.gikaken.com>

次 第

司会 笠井書記

14:55	*資料の確認
	【全体会 1】
15:00	<p>1 開会のことば 村井 副部会長</p> <p>2 部会長あいさつ 松山 部会長</p> <p>(1) 令和5年度 県技・家研(略) 活動方針について</p> <p>(2) 第53回県総会 報告</p> <p>(3) 全日中理事会報告</p> <p>(4) 関ブロ群馬大会・全日中静岡大会について</p> <p>(5) 中学校技術・家庭科第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわについて</p> <p>(6) 全国フェアへの協力体制について</p> <p>(7) 創立50周年式典・記念行事について</p> <p>(8) その他</p> <p>3 来賓あいさつ(要確認) 神奈川県立総合教育センター企画調整部企画広報課 広報情報班 佐藤 竜也 主査(兼)指導主事</p> <p>4 県技・家研事務局(副部会長および事務局)紹介・仕事分担 松山 部会長</p> <p>5 委嘱状の伝達について 嘉山 事務局長</p> <p>6 令和5年度事業計画について 嘉山 事務局長</p> <p>7 各委員会 委員長・副委員長紹介、各委員会の輪番 嘉山 事務局長</p> <p>8 第62回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 群馬大会について 第62回全日本中学校技術・家庭科研究大会 第60回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会 静岡大会について 嘉山 事務局長</p>
	<p>【常任幹事・幹事会・各委員会】</p> <p>※それぞれの座席付近へ事務局担当者が伺いますので、その場で待機をお願いします。</p> <p>司会(常任幹事・幹事会、各委員会担当事務局員)</p> <p>※最初に常任幹事・幹事会、研究委員(家庭)、会報委員を行い、その後各委員会を行います。(幹事を兼ねている方がいるため)その間、各委員会の方には、資料を読んでおいていただく時間を確保します。</p> <p>(1) 各委員自己紹介 担当役員・担当事務局(書記)紹介</p> <p>(2) 委員長・副委員長輪番の確認</p> <p>(3) 委員会業務説明</p> <p>(4) 夏季研修会の参加について</p> <p>(5) 全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわの取組(協力体制)</p> <p>(6) 役員・委員名簿の確認</p> <p>(7) 各委員会独自の活動</p> <p>※全委員会が終了したら、再度全体会を行います。</p>

15:35	<p>【全体会 2】</p> <p>9 中学校技術・家庭科第23回全国中学生創造ものづくり教育フェアについて 矢坂フェア事務局長</p> <p>(1) in かながわ について ※総会資料に入っているポスターの活用を呼び掛けてください。</p> <p>(2) 関東甲信越地区大会栃木大会 について</p> <p>(3) 全国大会について(運営協力)</p> <p>10 県技・家研(略) 夏季研修会について 佐久川 技術部長 中瀬 家庭部長</p> <p>→今回で調整がつけば案内、つかなければ方向性のみを伝える</p> <p>11 令和5年度事業予算について 玉城 会計</p> <p>12 全日中分担金・各中学校分担金について 玉城 会計</p> <p>①全日中決算報告</p> <p>②全日中分担金・各中学校分担金の納入について</p> <p>13 令和5年度 第53回県総会について 嘉山 事務局長</p> <p>14 令和6年度 第63回関プロ千葉大会について 嘉山 事務局長</p> <p>15 事務連絡 向井 書記</p> <p>(1) 資料等の配付について</p> <p>(2) 第2回常任・合同委員会の案内</p> <p>(3) その他 令和6年度県総会について(会場案内など)</p> <p>16 閉会のことば 副部会長</p>
16:00	<p>【地区別会議】</p> <p>※荷物をお持ちになり、巻末に示した場所へお集まりください。 (司会:地区担当事務局員)</p> <p>1 各委員自己紹介 地区担当役員・担当事務局員紹介</p> <p>2 連絡体制・連絡先の確認 (中地区:令和6年度県総会準備について 県西地区:令和7年度県総会について)</p> <p>※終了した地区から解散となります。</p>
16:20	終了予定
16:30	

全体会 1

1 開会のことば

村井副部長

2 部会長あいさつ

松山部長

(1) 令和5年度 県技・家研(略) 活動方針について

(2) 第53回県総会 報告

(3) 全日中理事会 報告

(4) 関ブロ群馬大会・全日中静岡大会について

(5) 第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわについて

(6) 全国フェアへの協力体制について

(7) 創立50周年式典・記念行事について

(8) その他

- ・全日中からの案内について
- ・県技・家研(略)ホームページについて
- ・プログラミングコンテストの紹介と参加者募集について

3 来賓あいさつ

神奈川県立総合教育センター 企画調整部 企画広報課 広報情報班

佐藤 竜也 主査(兼)指導主事 様

4 県技・家研(略)事務局紹介・仕事分担

松山部会長

部会長 松山 雅彦 (横三 校長)	担当委員会 フェア担当 50周年 対外関係	常任幹事・幹事会 総務 式典 全日中理事会・関プロ理事会、全日中フェア委員会
副部会長 飯島 敏明 (横浜 校長)	担当委員会 フェア担当 50周年 対外関係	研究委員会(技術) 作品展・プログラミングコンテスト 研究発表大会 プログラミングコンテスト打ち合わせ
副部会長 石井 秀明 (川崎 校長)	担当委員会 フェア担当 50周年 対外関係	調査 web 委員会 木工チャレンジ 名簿作成・臨免対応調査 全日中調査研究
副部会長 柴崎 厚子 (中 校長)	担当委員会 フェア担当 50周年 対外関係	研究委員会(家庭) おべんとうコンクール、全国おべんとう運営 研究発表大会 全日中フェア運営委員会
副部会長 村井 直子 (相模原 副校長)	担当委員会 フェア担当 50周年	会報委員会 アイデアバッグ、作品展、全国おべんとう運営 「フェアの歩み」(50周年記念誌)
副部会長 比留川 義弘 (県央 教頭)	担当委員会 フェア担当 50周年	フェア委員会 ロボコン 「フェアの歩み」(50周年記念誌)・名簿作成・臨免対応調査
顧問 北井 淳一 (湘南 校長)		・in かながわの運営における窓口 ・作品展(作品回収・返送) ・借用物品、業者との対応

事務局長 嘉山 英明 (横三・技)	担当委員会 フェア担当 対外関係	常任幹事・幹事会 総務・渉外・ロボコン 全日中理事会・関プロ理事会・全日中フェア委員会
フェア事務局長 矢坂 健太郎 (川崎・技)	担当委員会 フェア担当 対外関係	フェア委員会 総務・他都県、全国関係渉外 フェア事業報告 全日中フェア委員会・関東甲信越地区フェア委員会
技術部長 佐久川 仁 (湘南・技)	担当委員会 フェア担当 内部分掌	研究委員会(技術) ○ロボコン 出席簿
家庭部長 中瀬 有喜 (相模原・家)	担当委員会 フェア担当 内部分掌	研究委員会(家庭) ○おべんとうコンクール 全日中フェア委員会
書記 向井 大貴 (横浜・技)	担当委員会 フェア担当 内部分掌	調査 web 委員会 ○木工チャレンジ 文房具 資料封筒作成
書記 笠井 健太 (横浜・家)	担当委員会 フェア担当 内部分掌	フェア委員会 アイデアバッグ おべんとうコンクール

書記 池田 悠士 (相模原・技)	担当委員会 フェア担当 内部分掌	フェア委員会 ○作品コンクール プログラミングコンテスト
書記 石井 美咲 (湘南・家)	担当委員会 フェア担当 内部分掌	会報委員会 作品コンクール おべんとうコンクール アイディアバッグ
会計 玉城 愛理 (川崎・家)	担当委員会 フェア担当 内部分掌	調査 web 委員会 ○アイディアバッグ おべんとうコンクール 欠席者分発送

5 委嘱状の伝達について

嘉山 事務局長

- ・本日の資料封筒の中に、所属長への鑑及び皆様の委嘱状が入っておりますのでご確認ください。不備等がございましたら、委員会・地区別会議の折に担当事務局員へお知らせください。
- ・所属長への鑑と併せ、一度所属長へご提示いただければと存じます。

6 令和5年度事業計画について

嘉山 事務局長

月	日	曜	内容	会場等	開催地
4	8	土	全日中フェア運営委員会	オンライン	東京
4	20	木	① 事務局会	横浜市立西谷中学校	横浜
5	11	木	② 事務局会	県央地区+新旧事務局 綾瀬市立城山中学校	県央
5	19	金	神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 総会	関プロ群馬大会 提案発表 技術分野：湘南地区 A 材料加工 家庭分野： 中地区 B 衣食住(衣)	県央
6	3	土	全日中 総会	14:00 大田区産業プラザ PIO	東京
6	16	金	③ 事務局会	藤沢市立第一中学校	湘南
6	22	木	① 常任合同委員会	15:00~かながわ県民センター	横浜
6	23	金	関プロ理事研修会	13:30~16:30 オンライン	群馬
6	28	水	④ 事務局会	逗子市立沼間中学校	逗子
7	7	金	② 常任合同委員会	15:00~かながわ労働プラザ	横浜
8			県技・家研夏季研修会	検討中	
8	5	土	全日中フェア運営委員会	未定	東京
8	17	木	⑤事務局会	未定	
9	8	金	③ 常任合同委員会 研究会創立50周年記念 式典	15:00~湘南工科大学	湘南
10			⑥ 事務局会	未定	
10	19	木	④ 常任合同委員会 (フェア委員会併催)	常任合同：湘南工科大学 14:45~ フェア : 16:10~	湘南
11	1 2	水 木	関東甲信越地区中学校 技術・家庭科研究大会群 馬大会	1日：理事会（オンライン） 2日：全大会・分科会(県内6会場) 第2・7分科会については、オンデマンドによる授業公開	群馬

11	3	祝金	第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ 前日準備	湘南工科大学	湘南
11	4	土	第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ	湘南工科大学	県央
11	9 10	木 金	全日本中学校技術・家庭科研究大会静岡大会	9日:全国理事会 全体会 10日:公開授業 分科会	静岡
12	2 3	土 日	第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア関東甲信越地区大会	未定	栃木
12	9	土	全日中フェア運営委員会	未定	東京
12			⑦ 事務局会	未定	未定
1	19 20 21	金 土 日	第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア	本部:中央区立銀座中 中央区立総合スポーツセンター おべんとうコンクール:女子栄養大学 プログラミングコンテスト:湘南工科大学(神奈川県運営)	東京
2			⑧ 事務局会	未定	未定
2			関プロ理事研修会	2月第2週	東京
2	10	土	全日中フェア運営委員会	未定	東京
2	統		⑤ 常任合同委員会	未定	未定
3			臨時役員会	3月下旬	部会長校

【研究大会・フェア運営地区 輪番】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
全国大会 開催地(回)	静岡(62)	山形(63)	北海道(64)	鹿児島(65)	奈良(66)
関東大会 開催地(回)	群馬(62)	千葉(63)	山梨(64)	埼玉(65)	新潟(66)
技術分野 提案地区 分科会 提案内容	湘南 第1分科会 材料加工	県央 第3分科会 エネルギー	中 第4分科会 情報	県西 第2分科会 生物育成	横浜 第1分科会 材料加工
家庭分野 提案地区 分科会 提案内容	中 第6分科会(2) 衣食住の 生活(衣)	県西 第5分科会 家族と家庭	横浜 第7分科会 消費生活と 環境	川崎 第6分科会(1) 衣食住の 生活(食)	相模原 第6分科会(2) 衣食住の 生活(住)
県総会	県央	中	県西	横浜	川崎
関東フェア	栃木	群馬	千葉	山梨	埼玉
県フェア運営	湘南	県央	中	県西	横浜

※令和9年度関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会新潟大会については、新潟県技術・家庭科研究会の解散のため、方向性について現在検討中となっております。

7 各委員会 委員長・副委員長紹介、各委員会の輪番

嘉山事務局長

	委員長 (勤務校)	副委員長 (勤務校)
研究委員会 (技術)	東海林 一誠 (海老名市立今泉中学校 総括教諭)	谷津 裕 (秦野市立西中学校 総括教諭)
研究委員会 (家庭)	高橋 理緒 (厚木市立荻野中学校 教諭)	綾部 春菜 (平塚市立金目中学校 教諭)
フェア委員会 (技術)	坪田 柁人 (茅ヶ崎市立松浪中学校 教諭)	鈴木 章矢 (綾瀬市立綾北中学校 教諭)
フェア委員会 (家庭)	神保 英里 (藤沢市立明治中学校 教諭)	大塚 久仁子 (綾瀬市立春日台中学校 総括教諭)
調査 Web 委員会	影山 聡史 (横須賀市立長沢中学校 総括教諭)	市丸 祐介 (藤沢市立湘南台中学校 教諭)
会報委員会	安田 ひとみ (小田原市立酒匂中学校 総括教諭)	飯島 寛 (横浜市立永田中学校 教諭)

(敬称略)

【委員会委員長・副委員長の輪番】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
研究(技術)(長)	県央	中	県西	横浜	川崎
(副)	中	県西	横浜	川崎	相模原
研究(家庭)(長)	県央	中	県西	横浜	川崎
(副)	中	県西	横浜	川崎	相模原
フェア (長)	湘南	県央	中	県西	横浜
(副)	県央	中	県西	横浜	川崎
調査 Web (長)	横三	湘南	県央	中	県西
(副)	湘南	県央	中	県西	横浜
会報 (長)	県西	5月19日の県総会議決により、令和6年度より、「調査web」と「会報」を合併します。			
(副)	横浜				

【輪番】 横浜 → 川崎 → 相模原 → 横須賀三浦 → 湘南 → 県央 → 中 → 県西

【常任幹事・幹事の皆様へのお願い】

※副委員長を務めた年度の翌年度に委員長となるように組んでおりますので、地区における人選においてご配慮をお願いいたします。

- 8 第62回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会群馬大会について
第62回全日本中学校技術・家庭科研究大会
第60回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会 静岡大会について

嘉山事務局長

別紙最終案内(写)参照

申込は各自で直接行う。事務局でのとりまとめは行わない。

※毎年、参加者数の報告があるため、各地区幹事に申込者の集約をお願いします。

【県総会の資料より抜粋】

①規約および組織改定について

別紙参照

① 令和6年度の各地区委員選出にあたり、次の点を変更する。

ア 役員承認は、年度最終の常任・合同委員会ではなく、新年度の総会にて承認を行う。
(会則第8条1項)

イ 常任幹事の選出は行わない。(会則及び細則の全体において削除した)

ウ 8地区を構成する支部から担当管理職を年度初めに報告する。(会則第7条4項のイ)
担当管理職は郡市町村の校長または副校長、教頭をもって充てる(専門教科は問わない)

担当管理職は、本研究会の常任・合同委員会には出席しない。(細則第2条1項エ)
担当管理職は、地区から選出する委員の選出を支部または支部のうち「逗子市・三浦郡葉山町」「茅ヶ崎市・高座郡寒川町」「愛甲郡愛川町・清川村」のような合同で選考を行う支部(以下「合同支部」と表記する)で調整する。(細則第2条1項ア)

エ 担当管理職から、役員・委員選考委員を選出する。(細則第2条1項)

(地区の学校規模を勘案し、横浜1、川崎1、相模原1、県域(横須賀三浦、湘南、県央、中、県西の5地区)若干名で構成する。

※役員・委員選考委員の選出については、県域の状況を判断し、当年度中に部会長が各支部の担当管理職と調整して決定する。役員・委員選考委員は、翌年度の役員(部会長・副部会長)の候補者選出をつかさどる。役員・委員選考委員は、当該年度の3月に役員選出のための調整を行う。(役員・委員選考委員会)

オ 各地区から選出する委員は次のとおりとする。

- 研究委員(技術分野) 1名
- 研究委員(家庭分野) 1名
- フェア委員(技術分野) 1名
- フェア委員(家庭分野) 1名
- 広報委員(分野を問わない) 1名～2名

※経過措置として、各地区のローテーションが整うまでは現状同様の2名体制としても差し支えない。(以上細則第2条2項、会則第10条3項)

② 各地区から選出される①オに示す上記委員は、支部(地区を構成する群市町村)または合同支部の幹事を兼ねる場合がある。支部の幹事は、各郡市町村の担当管理職との連絡の窓口となる。(第7条1項、4項、第8条2項)

③ 規約に示されている用語・地区名・役職名等を実態に合わせて整合性のあるものとした。また、これまでに事務局内に設置されたことのある役職について、全日中技家研究会の役職名に準じて表記を改め、今後技術・家庭科が直面する可能性のある事態を想定した役職を追加した。(会則 第6条、第7条1項・5項ア及びイ、第8条全体、細則第1条・第2条3項・4項、別表の追記など)

- ④ 本研究会は「人格なき法人」の扱いとなるため、部会長が交代する度に銀行口座の名義を変更する際に規約・役員名簿・事務局の所在地等を示す書類の提示が必要となる。この制度に合わせるために、事務局の所在地を示す条項が必要となるため、追加した。
(会則 第4条)
- ⑤ その他、規約の文書の記述を例規の記述及び公用文の原則に則った記述に改めるとともに、規約と細則の整合性を図るため、細部にわたって改訂を行った。

提案の理由

①アについて

近年、役員候補である管理職の人事異動は校種間異動など想定しづらい異動を伴う場合がある。2月中下旬に計画される最終常任・合同委員会の段階ではこうした状況が不明確であり、打診される方も受諾をしにくい状況がある。このため、3月末の人事異動確定をもって選考を行うことが合理的と考えた。

①イ～エ 及び②について

現在、本研究会では、全国中学生ものづくり教育フェアの運営だけでなく、関東・全国大会において関東地区の研究会が運営を担っている実情があり、部会の運営には教科の知識やフェア運営についての経験を持つ管理職に限られる状況が生じている。県域では支部に技術・家庭科を経験した管理職が存在しない支部もある。

地区単位で副部会長や常任幹事を選出することが困難であり、近年は常任幹事・幹事を一般教員が兼任している状況がかなり増えてきている。その一方で、関東甲信越地区の研究発表分担や県総会・in かながわの運営において地区との連携を図る際に、一般教職員が郡市町村の枠を超えた調整をすることの困難が見受けられる。

そこで、各支部(郡市町村)から選ばれる「幹事」を、支部の教科の窓口として位置づけ、各支部または合同支部の技術・家庭科を統括する管理職を事務局が把握しておくことで、連絡をスムーズに行う仕組みを作ることによって、各地区・支部の負担を軽減することができると考えた。

①オについて

学校規模の縮小が進み、技術・家庭科担当者が不在の学校(非常勤講師対応、臨時免許対応等)が多くなってきており、委員の選出が困難となってきている。このため、研究会事業そのものを若干整理し、各地区からの選出数を1名減じて5名とすることを基本としたい。しかしながら、現存する各地区支部のローテーションを急に変更することは難しいと考えられるため、当面の間は幅を持たせることも必要と考え、調査・webと会報を統合した広報委員へは1名～2名を地区の事情にあわせて選出してもらえるようにした。

③④⑤について

平成 27 年度以降に生じた事態への対応のため、規約を変更した際に整合性が失われている条項や、実際に位置づけられていた役職の規約上の位置づけがないものが見られたため、今回の大幅改訂に併せて修正を加えた。

また、ここ数年の中で急速に進んだ技術・家庭科教員の年齢層の偏りや、新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置をとる中で失われてきたノウハウを補うために、今後組織外からも協力体制を得られるようにするため、「顧問」「相談役」といった役職については現職だけでなく、研究会 OB・OG も含めて部会長が委嘱できる形を整えた。

今後各地区で整備が必要な内容

- ・毎年地区(郡市町村)から1名の担当管理職を確認させていただくことをご理解いただきたい。担当管理職は定例の会議への出席義務はなく、年度最終常任・合同委員会において幹事が伝達される「支部選出委員名簿」「表彰候補者推薦報告書」をもとに、各支部の担当管理職でご相談いただき、地区内のローテーション等をご相談いただきたい。
- ・ローテーションによって支部の委員の選出が定められている地区においては、ローテーションの一部直しを行っていくことも考えられる。

常任幹事・幹事会 各委員会活動

(1) 常任幹事会・幹事会

担当役員 松山部会長
担当事務局員 嘉山事務局長

- 地区別会議の総括に関する事
- 各地区の連絡調整に関する事
- 役員選考に関する事(常任幹事・幹事の管理職)
令和6年度から、組織が変更になることについての説明。
- 各地区委員の選考に関する事
令和6年度から、選出は5～6名となること
- 総会の案内に関する事
- 全日中・県研究会の分担金納入に関する事
- 研究大会提案についての連絡調整に関する事
- 関ブロ・全日中申込者数の集約(幹事)

(2) 研究委員会(技術分野、家庭分野)

担当役員 飯島副部会長・柴崎副部会長
担当事務局員 佐久川技術部長・中瀬家庭部長

- 各地区研究成果の収集と情報発信
- 研究集録のまとめ(研究概要)を次年度総会で配布
→ 今年に限っては「臨免で授業をしている方でも取り組める実践例の収集」
- 全国中学生創造ものづくり教育フェアinかながわへのスタッフ協力
- 県版学習ノートの検討(改訂年度のみ)
- 夏季研修会への参加、地区の教員への参加推進
- 関ブロ提案地区による研究授業への参加
- 各地区研究成果の収集と情報発信

(3) フェア委員会

担当役員 比留川副部会長
担当事務局員 矢坂フェア事務局長
池田書記・笠井書記

- 全国フェア・関東フェア・県フェア、運営委員(各部門の運営役員)
- 各地区へのスタッフ要請の取りまとめ
- 競技会場設営・運営(対面開催の場合)
- 会報委員会と分業して、「フェアの歩み」の編集を進める。

(4) 調査 Web 委員会

担当役員 石井副部会長
担当事務局員 向井書記・玉城書記

- 全県の技術・家庭科教育にかかわる状況の調査と分析・考察
- 全国中学生創造ものづくり教育フェアinかながわへのスタッフ協力
- 県技・家研のHP運営補助
(授業に役立つコンテンツの収集・フェア・関ブロなどの資料掲載)→要検討
- 調査 Web 委員会で作成した調査結果のまとめ及び分析
- 今年に限っては全県技家担当者名簿の集約を実施。

(5) 会報委員会

担当役員 村井副部長
担当事務局員 石井書記

- 会報は 99 号:巻頭挨拶・関ブロ、全日中報告・フェア報告号 ※第4回で配布
100 号:創立 50 周年記念式典特集号 ※第5回で配布
- 今年度に限っては、「フェアの歩み」の編集を進める。
- 県技家研HPで公開 公開の周知
- 全国中学生創造ものづくり教育フェアinかながわへのスタッフ協力・取材・写真撮影

【休憩】

全体会 2

9 中学校技術・家庭科 第 23 回全国中学生創造ものづくり教育フェアについて

矢坂フェア事務局長

別冊資料(組織図・募集要項 他)参照

※募集要項については、全国・関東甲信越地区との調整の中で変更となる部分もあります。
最新情報は県技・家研ホームページ(<http://www.gikaken.com/>)にて更新します。

(1) in かながわ について

- ① 開催部門 : 生徒作品コンクール 木工チャレンジ アイデアロボットコンテスト
豊かな生活をつくるアイデアバッグコンテスト
あなたのためのおべんとうコンクール プログラミングコンテスト体験

② 参加申込期日(応募書提出期限) : 令和5年9月8日(金)←例年の×切日

③ 開催日 : 部門によって異なりますので、募集要項を参照してください。

※プログラミングコンテストについては、各校単位で毎日パソコン入力コンクールウェブサイトから登録し、大会予選参加を行い、選考上位者が全国大会へ進みます。

(別紙案内参照)

(2) 関東甲信越地区大会栃木大会 について(大会の開催方法は現段階で未定)

- ① 開催部門 : 豊かな生活をつくるアイデアバッグコンテスト(審査)
アイデアロボットコンテスト

② 開催日 : 令和5年12月2日(土) 3日(日)

(3) 全国大会について

今年度、神奈川県が「あなたのためのおべんとうコンクール」の運営と、「プログラミングコンテスト」の運営を行います。

会場も女子栄養大学、湘南工科大学と分かれての開催となりますので、常任・合同委員会の皆様にも、運営のご協力をお願いしたいと考えています。

次回第2回に、ご協力が可能かどうかをお聞かせください。

10 県技家研(略)夏季研修会について

佐久川 技術部長

中瀬 家庭部長

【技術分野】

○期日 : 令和5年8月7日(月)

○場所 : 藤沢市立第一中学校 〒251-0021 神奈川県藤沢市鶴沼神明5-10-9

○内容 : チャットボット制作アプリを利用した「双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決」

【家庭分野】

○期日 : 第2回常任・合同委員会にてお知らせします。

○場所 : 国民生活センター 〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-3-1

○内容 : 消費者トラブルへの対処方法

神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会

令和5年度 予算 (案)

単位：円

収入額	705,500	昨年度予算額	705,500	比較	0
-----	---------	--------	---------	----	---

【収入の部】

項目	予算額	昨年度予算額	増減	付 記
研究助成金	95,000	95,000	0	公立中学校教育研究会より
分担金	162,800	162,800	0	分担金 400×407校
全日中分担金	447,700	447,700	0	分担金 1,100×407校
前年度繰越金	0	0	0	
合計	705,500	705,500	0	

【支出の部】

項目	予算額	昨年度予算額	増減 (▲減)	付 記
研究費	37,800	57,800	▲20,000	研究費補助、郵送代等
部活動費	20,000	30,000	▲10,000	研究集録、通信費等
関プロ分担金	80,000	80,000	0	関プロ分担金5万、関東フェア分担金3万
総会運営費	30,000	30,000	0	総会運営費
会報印刷費	5,000	0	5,000	会報印刷費
事務費	40,000	20,000	20,000	封筒代、紙代、文具代等
会議費	40,000	30,000	10,000	会議費補助
全日中分担金	447,700	447,700	0	
関プロ準備金	5,000	10,000	▲5,000	
予備費	0	0	0	
合計	705,500	705,500	0	

上記の通り提案いたします。

令和5年 5月 19日

部会長 松山 雅彦

事務局会計 中瀬 有喜

12 全日中分担金・各中学校分担金について
① 全日中決算報告

玉城会計

6 令和4年度 全日本中学校技術・家庭科研究会 決算報告

収入の部 (円)

科目	内容	予算額	決算額	比較(決-予)
会費収入	6316校×1100円	6,947,600	7,120,300	172,700
雑収入	貯金利子	12	13	1
繰り越し金	前年度繰越金	1,188,045	1,188,045	0
収入の部合計		8,135,657	8,308,358	172,701

支出の部 (円)

科目	内訳	予算額	決算額	比較(予-決)
研究大会費	全国研究大会費	1,400,000	1,400,000	241,050
	創造ものづくりフェア	500,000	500,000	
	作品展賞状	85,000	60,500	
	旅費等	550,000	333,450	
研究調査費	印刷製本費	130,000	0	228,688
	送料	30,000	0	
	旅費等	100,000	31,312	
研究成果刊行費	理論と実践	2,950,000	3,131,280	△ 79,915
	会報	340,000	338,635	
	旅費等	100,000	0	
渉外費	HP運営費	400,000	420,000	△ 38,000
	記念品代	30,000	20,000	
	関係団体折衝費		108,000	
	旅費等	80,000	0	
理事会費	全国理事会・ブロック長会	180,000	105,126	74,874
事務局費	事務用品		5,724	36,598
	通信費・運搬費	150,000	47,580	
	手数料(振込手数料)		38,640	
	旅費等		21,458	
予備費	オンライン対策費		1,110,657	200,000
	活動支援金	1,110,657	277,050	
支出の部総計		8,135,657	7,038,755	1,096,902

収入総額	支出総額	収支決算
8,308,358円	7,038,755円	1,269,603円

収支決算 = 収入総額 - 支出総額 = 1,269,603円 は、次年度に繰り越します。

※ 上記の通りご報告いたします。

令和5年3月25日

全日本中学校技術・家庭科研究会

会長 杉浦 伸一

事務局長 三浦 利信

会計 矢島 加都美

※ 監査の結果上記の通り相違ありません。

令和5年3月28日

会計監査

高橋 章

② 全日中分担金・各中学校分担金の納入について

別紙参照

13 令和6年度 第54回県総会について

嘉山事務局長

県総会の折にお知らせできなかった次期開催地及び日程をお知らせいたします。

○日時：令和6年5月17日(金) 13:30 開会

○場所：伊勢原市文化会館 小ホール

【徒歩】

小田急線伊勢原駅より徒歩 13 分

【バス利用】

- ・伊勢原駅南口 4 番線から「東海大学病院行き」バスに乗車し、「行政センター前」で下車、徒歩 3 分。
- ・伊勢原駅北口 3 番線から「行政センター経由日向薬師行き」バスまたは「行政センター・運動公園経由七沢行き」バスに乗車し、「行政センター前」で下車、徒歩 3 分。
- ・伊勢原駅北口 2 番線から「愛甲石田駅行き」バスに乗車し、「伊勢原市役所北口」で下車、徒歩 3 分。

第63回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 千葉大会（案）について

1 研究主題

生活や技術を工夫し創造する実践的な態度の育成
～主体的・対話的で深い学びを通して～

2 開催期日

令和6年10月24日（木） 理事研修会・全体会（オンライン開催）
25日（金） 分科会（参集型による開催）

3 日程

<第1日（24日）> ※オンライン開催

	10:30	10:45	11:45	12:45	13:00	13:20	14:20	15:20	15:40
	理事研修会		休憩	全体会					
	受付	研修会		受付	開会式	提案発表 研究協議	指導助言	閉会式	

<第2日（25日）> ※県内9会場で参集型による開催

	9:30	10:00	10:50	11:00	11:20	12:00	12:20	13:20	14:20	14:50	15:00
	受付	公開授業	↑	開会式	提案発表 研究協議 <千葉県>	指導 助言	昼食 休憩	提案発表 研究協議 <他都県>	指導 助言	閉会式	
	← 移動・休憩										

4 分科会

全体会・分科会		会場	他都県発表
全体会		※未定（千葉市）	山梨
第1分科会	A 材料と加工の技術	佐倉市立佐倉中学校	東京・新潟
第2分科会	B 生物育成の技術	千葉市立花見川中学校	栃木・長野
第3分科会	C エネルギー変換の技術	※未定（安房地区）	埼玉・神奈川
第4分科会	D 情報の技術	※未定（我孫子市）	茨城・山梨
第5分科会	A 家族・家庭生活	野田市立川間中学校	埼玉・神奈川
第6分科会	B 衣食住の生活（食生活）	千葉市立朝日ヶ丘中学校	栃木・長野
第7分科会	B 衣食住の生活（衣住生活）	※未定（市川市）	東京・新潟
第8分科会	C 消費生活・環境	横芝光町立横芝中学校	茨城・山梨
第9分科会	教育課程	※未定（船橋市）	

※未定の分科会会場、及び授業者等については、令和5年度第1回理事研修会にてお知らせいたします。

※安房地区は、館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町のいずれかの学校になります。

15 事務連絡

向井書記

(1) 資料等の配付について

- ・本日も欠席の方へは、地区で伝達できるものは地区でお持ちください。
- ・難しい場合には、事務局担当へご相談ください。

(2) 第2回常任・合同委員会の案内

○日時:令和5年7月7日(水) 15:00～

○会場:かながわ労働プラザ 第5、6、7会議室

(横浜市中区寿町1-4)

【最寄り駅】

- ・JR 京浜東北・根岸線「石川町駅」中華街口(北口)徒歩 3 分
- ・JR 京浜東北・根岸線「関内駅」南口から徒歩 8 分
- ・横浜市営地下鉄ブルーライン「伊勢佐木長者町駅」出口 2 徒歩 12 分
- ・横浜市営地下鉄ブルーライン「関内駅」出口 1 徒歩 12 分

(3) その他

16 閉会のことば

副部会長

全体会終了後 地区別会議を行います。

地区別会議

※全体会終了後、各地区の常任幹事・幹事と各委員との顔合わせと地区確認を行います。

机

事務局	横浜
相模原	川崎
横須賀、三浦、逗子、三浦郡	湘南(鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、高座郡)
県央(大和、座間、海老名、綾瀬、厚木、愛甲郡)	中(平塚、秦野、伊勢原、中郡)
	県西(小田原、南足柄、足柄上郡、足柄下郡)

1 各委員自己紹介 地区担当役員・担当事務局員紹介

(本日配付の名簿を見ながら、お互いに顔の見える関係を築きましょう！)

今年度は、創立 50 周年の特別な業務が多く、各委員会のオーダーが多くなると思われます。各委員会がいつまでにどんなものを作成するのかをお互いに知り、各地区・市町村に働きかけをする際に、電話連絡を中心に行っていくことになります。

必要に応じて、メールアドレスなども交換しておく、よいかもしれません。

2 連絡体制・連絡先の確認

(中地区：令和6年度県総会準備について、県西地区：令和7年度県総会について)

◇この資料についてのお問い合わせは、下記の県技・家研(略)事務局までお願いします。

嘉山 英明 (逗子市立沼間中学校 教諭)
所在地 〒249-0004 逗子市沼間3-21-2
TEL 046-871-5200
FAX 046-872-9657
e-mail hideaki_kayama@edu.city-zushi.ed.jp
県技・家研ホームページ <http://www.gikaken.com/>

発行日 令和5年6月22日(木)

発行者 神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会